

24目標  
12月短答後  
論文学習法セミナー

本試験成績の決まり方  
講義/答練の位置づけ

担当：平林

- 
- ✓ 論文式試験に合格するには？
  - ✓ 何を、どれくらい覚える？
  - ✓ 各種答練の位置づけは？コンスタントに受けるには？
  - ✓ 論文対策講義はすべて視聴する？
  - ✓ 質問コーナーなどサポート制度は使った方がいい？

## 0. 定期的なセミナーの開催目的・論文式試験合格に必要な力3つ

1. ゴールを知る 本試験成績の決まり方・スケジュール・解答時のポイント  
答練をコンスタントに受けるには・学習環境の整え方
2. 何を、どれぐらい覚える？
3. 答練の位置づけは？ どの講義を受ける？
4. サポート制度の利用 大学受験や短答対策との違いは？  
(公式LINE/LINEオープンチャット/各種サポート窓口)
5. 論文対策 まずやることリスト

「2つの面で、時間対効果を高める」

## 自習時の時間対効果

定期的に、時期ごとの目標・よくご相談いただく内容を共有



短期的・中期的ゴールが明確になる



学習方針などで 迷いや不安がなく、**学習に集中**できる。

## 質問・相談などサポート利用時の時間対効果

学習ペースがずれたり成績が伸び悩んだ時にも…



定期的にセミナーで、  
状況別の優先順位/スケジュールの組み方共有



**自力でもある程度立て直せる**ようになる。

質問・相談時、時間内で**より具体的な話**が可能になる。

## 理解      暗記      試験中の行動

### 1. 理解      複数論点を**比較**できるか？具体例は挙げられるか？

★理解していると、「丸暗記」の量が減る。4月頭頃までは理解を重視。

★問題演習など、アウトプットを通じて理解不足を探す。

×「~~理解・暗記して問題集が完璧になってから答練を受け始めよう~~」

### 2. 本試験当日に、知識を引き出す。暗記・ピーク合わせ。

「見たらわかる」「知っている」だけでは不十分。覚え切ることができるか？

本試験当日、【よどみなく】引き出せるか？

最後の2週間、全科目ピークを合わせられるか？

★**メリハリを付ける**。まず重要かつ苦手な論点をつぶす→得意な論点も点検

### 3. 得点に繋げる（時間配分・読み飛ばし対策・問題の読み取りなど試験中の行動）

自分なりに答練に向けて準備して受験し、自分のミスの傾向を掴む。工夫をする。

★**完璧主義は封印する。本試験までに復習して伸ばす。**

## 0. 定期的なセミナーの開催目的・論文式試験合格に必要な力 3 つ

### 1. ゴールを知る

**本試験成績の決まり方・スケジュール・解答時のポイント  
答練をコンスタントに受けるには・学習環境の整え方**

### 2. 何を、どれぐらい覚える？

### 3. 答練の位置づけは？どの講義を受ける？

### 4. サポート制度の利用 大学受験や短答対策との違いは？

(公式LINE/LINEオープンチャット/各種サポート窓口)

### 5. 論文対策 まずやることリスト

# 本試験の成績の決まり方

総合得点比率(≡偏差値)52で合格。※51.8などで合格の年もあり

令和5年公認会計士試験論文式試験成績通知書

免除資格を取得した科目については、得点率の欄に「※」を表示しています。

免除資格を取得した科目がある場合には、論文式試験一部科目免除資格通知書を別にお送りしています。

| 科目区分              | 会計学     | 監査論    | 企業法     | 租税法    | 経営学 | 経済学 | 民法  | 統計学    | 総合    |
|-------------------|---------|--------|---------|--------|-----|-----|-----|--------|-------|
| ① → 得点率           | 50.82   | 41.5   | 57.55※  | 58.00※ | -   | -   | -   | 51.2   | 51.53 |
| ③ → 問別得点<br>(調整後) | 一 23.5  | 一 17.8 | 一 29.15 | 一 20   | 一 - | 三 - | 五 - | 七 28.2 | ②     |
|                   | 二 24.2  | 二 23.7 | 二 28.4  | 二 38   | 二 - | 四 - | 六 - | 八 23   |       |
|                   | 三 35    |        |         |        |     |     |     |        |       |
|                   | 四 37.35 |        |         |        |     |     |     |        |       |
|                   | 五 32.4  |        |         |        |     |     |     |        |       |
| ④ → 順位            | 647位    | 2,164位 | 280位    | 138位   | -   | -   | -   | 10位    | 29位   |

## 【偏差値との相違点】

素点ゼロの大問は、  
偏差値30などでなく、  
問別得点もゼロ換算となる。  
全ての大問で数点はもぎ取る！

★極端に苦手な重要論点は  
なくす。  
大問ごとに守った上で、  
あわよくば稼ぐ。

①科目ごとの得点率。大問ごとの問別得点(③)の合計÷配点。

②56などを超えた科目は、その後2年間一部免除科目免除資格を取得。

③問別得点(調整後)...大問ごとの得点率(≡偏差値)を得点換算したもの。  
大問ごとの偏差値が、その大問の配点に応じて加重される。

租税法 第1問 理論 40点 第2問 計算60点／会計学 第3問 60点 第4問・第5問 70点  
★他の大問は全て50点

問別得点を配点で割り×100すると、偏差値が出せる。

例 会計学 第4問 (調整後)問別得点 37.35÷大問の配点70点×100→偏差値53.36

管理会計第2問は平均点が低い年が多く、1点の重みが大きいため要注意。  
第一問から1問→第二問から1問と交互に解くなど

科目全体合計で偏差値40未満の科目がある場合、足切り(大問ごとではない)

④順位は、不合格者の成績通知書には不合格者の中での順位が表示される。

# 論文式試験 各科目のポイント一覧

★2日目は、「会計学」という  
300点満点の科目として扱われる。

【1日目午前】

## 監査論

(100点) 金曜日 10:30-12:30

目次を見て論点が思い出せるか。

★基準集に記載の無い概念・理屈は説明できるように。

★基準集を引けるように。

★事例問題は問題文を引用しつつ、素直に過不足なく答える。

【2日目午前】

## 会計学午前[管理会計論]

(100点) 土曜日 10:30-12:30

目次を見て論点・処理を想起できるか。

★時間配分に注意。  
大問ごとに平均を死守。

【3日目午前】

## 企業法 (100点) 日曜日 10:30-12:30

★条文を挙げられるか？

★問題文から論点・条文に気づけるか？

★適切に論理を組み立てられるか？  
原則→問題の所在→規範定立→あてはめ

【1日目午後】

## 租税法

(100点) 14:30-16:30

理論40点、計算60点(固めると安定的に稼げる)

★法人税テキスト①が最重要。

次に、所得税・消費税の基礎論点  
(上級講義8までの論点)。

★膨大な資料から簡単な箇所を拾う。

★12→8月/論文リスタート生は  
租税計算を稼ぎ科目にする。  
特に法人税①。  
5月生は基礎論点で守る。

【2日目午後】

## 会計学午後[財務会計論] (200点) 14:30-17:30

### 財務理論 (第3～5問 120点ほど)

論文で最も配点が高い。

★キーワードを使って理屈部分が説明できる。

★処理部分について、基準集が引ける。

★応用的な問題で、基礎概念を使って部分点獲得。

### 財務計算 (第3・5問の一部)

★時間配分に注意。  
大問ごとに平均を死守。

★難易度の易しい箇所を正確に解く。

【3日目午後】

## 経営学 など選択科目

(100点) 14:30-16:30

戦略論/組織論 50点

ファイナンス(主に計算) 50点

★難易度の易しい計算を  
正確に解く。

★理論(4+3で全7回ほど)

人名をヒントとして関連用語を想起。  
重要概念は、ある程度キーワードを使って説明。

# 論文式試験 解答時のポイント(試験中の行動)

TAC

## 計算・理論科目共通

- 大問ごとに得点比率(≒偏差値)が付き、大問ごとの配点に応じて加重される。**時間配分に注意。**  
難易度にもよるが、大問1つについて、1時間を大きく超えないように。管理は20～25分×4問など。  
大問ごとに平均を死守する。
- 解答用紙・解答欄取り違えに注意。指差し点検。

★素点ゼロの大問は、得点比率もゼロとなる。必ず素点1点は確保。特に、管理会計第2問や企業法。

★大問合計偏差値40未満の科目がある場合、足切りとなる(大問ごとではなく、科目全体の合計)。

## 計算科目

- 比較的平易な箇所を正確性を重視して正答すれば、合格点に届く。  
時間配分に注意。やらかしミスの傾向を把握して対策。

## 理論科目

- 問題文の意図を読み取り、素直に答える。  
「答練が当たった!」「もらった!」等思った時ほど、要注意。  
論点を早合点しない。問われていることを見定めてから書き始める。  
★答練で手応えと成績に乖離がある場合、「論点ズレ」の可能性あり。分析して講師と相談。
- 解答行数が余ったとしても、余事記載(問われていないことまで記述)で埋めない。  
問いに対して、素直に丁寧に、「過」不足なく答える。
- 「～の観点から」「～に照らして」「～を踏まえて」「～と比較しながら」などの**指示に従う**。
- 応用的な問題は、時間を掛けすぎないように、時計を見てから解き始める。
- 基準集が使えるようにする。

## 12月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

# Input 強化

基礎的な概念を  
理解し、  
口頭で説明できる  
状態に。

12月短答後～  
租税法・選択科目  
講義受講開始

4月  
セミナー

# Output 強化

問題文の読み取りと  
素直な答え方、  
部分点の取り方、  
時間配分等を  
身に付ける。

正確性  
・  
スピード強化。

各種問題集・答練の  
ほか、論文対策講義  
を活用。

財務 計算  
・  
管理会計論  
アクセス  
前半

論文  
基礎答練  
3回

★問題文の読み取り、  
問への素直な答え方  
を身に付ける

応用答練  
2回

★部分点の取り方、  
時間配分の練習等

★全科目、テキストを大事に。

★論文アクセス・基礎/応用答練は範囲指定あり。  
準備して受験し、足りない力を分析。

★問題集・答練等のアウトプットを通じて、  
インプットの穴/不足している力を特定。  
問題を解く&周辺想起。

※5月短答を受験する場合

1・2月末には短答科目の講義を終わらせる。  
3月後半から短答直前答練開始。

4月からは、短答向けの結論暗記のため、  
論述対策や租税法/選択科目はストップ。

4月末 論文公開模試 第1回

理論補強答練1・2

5月下旬日曜日 5月短答式試験

論文直前講義 各1回

財計・管理・租税計算アクセス後半 論文直前答練1・2

6月末 論文公開模試 第2回

論文直前答練 3 (監査企業のみ4回目あり)

回轉期

会計学計算・・・2週間以内に論点1周、  
 その後は7日～2週間以内に論点1周、暗記は毎日など。

8月下旬 金土日 論文式試験

## ★暗記詰め・ピーク合わせ

論文後セミナー

# 答練をコンスタントに受けるには

## 1. 校舎の日程の組み方を参考にする。

受講生サイト @C.P.A 講義日程 水道橋など

[@CPA 公認会計士講座の日程 |  
資格の学校TAC\[タック\] \(tac-  
school.co.jp\)](https://tac-school.co.jp)



## 2. 完璧主義は封印する。

多少準備不足でも、アクセス・答練を受験。復習に活用。

## 3. 積極的に各種サポートを利用する。

## 4. 学習環境を整える(次ページ)。

# 学習環境を整える

★自分の「やる気」「モチベーション」を当てにせず、**TAC**  
「やる気がなくても自然と取り組める」ように各種環境を作る。

勉強場所や時間帯等をリストアップして試す。特にしっくりくる環境を定番化。

- 場所…自習室/図書館/カフェ/大学/電車/自宅(リビング/自室/ベランダ/風呂など)
- 時間帯… 朝/午前/昼/午後/夕方/夜/移動時
- 相談環境(対面/オンライン)… 講師/チューター【注】本試験は、毎年大きく傾向が変わる。できるだけ講師・チューターへ。
- ネットとの距離… スマホは移動時やリラックスタイムに/自習室に着いたらロッカーに入れる/  
自宅に置いて外出/リビングに置く/日中は箱に入れて鍵を閉める/モノクロ表示にする
- 体調・メンタル面… 睡眠 / 定期的な運動 / 前に進んでいる感覚を作る / 相談活用

## 通信生の場合

質問コーナーや校舎HR・個別相談会/交流会参加。

他の受講生の様子を知る・講師と話して方向性確認。早稲田・日吉の短期集中クラスに合流も◎。

可能であれば時折り校舎で自習や、スクーリング制度で会場受験(いずれも手続不要・当日会員証持参)。

## 社会人受験生の場合

想起・言語化による復習方法を活用する。机が使える時は計算演習。

また、転職や、週の勤務日数を減らす・休職/退職して受験に専念する選択肢も。就職サポートで一度相談。

# 必要な3つの力・目安となる状態・使う教材/サポートまとめ

| 必要な力                                           | 目安となる状態                                                                                                                                                                                                                                                              | 使う教材/サポート                                                                                                                                 |
|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テキストを理解                                        | <input checked="" type="checkbox"/> テキストを読めば内容がわかる<br><input checked="" type="checkbox"/> 比較が出来る（共通点・相違点）<br><input checked="" type="checkbox"/> 具体例を挙げられる<br><input checked="" type="checkbox"/> テキストを見ながらであれば、正解できる<br>規定の趣旨を言えるか？<br>★基礎概念や理屈を理解すると暗記量が減らせる。      | 講義受講(何度も受講し直すのは避ける)<br>質問…質問コーナー/質問ルーム/24目標LINE<br>オープンチャット/質問メール その他各種ア<br>ウトプット教材⇔テキスト<br>理論科目 短答問題集…×の理由を考える。<br>比較。★演習を通じてインプットの穴を探す。 |
| 理解に加えて、<br>本試験当日に<br>テキストの内容<br>を想起できる<br>(暗記) | <input checked="" type="checkbox"/> 自力で初見の問題が正解できる<br><input checked="" type="checkbox"/> 問題を解いた後（もしくは目次を見て）、<br>テキストの周辺論点が 場合分け で思い出せる<br>★ピーク合わせ…全体2週間以内、細かい暗記は<br>付箋を貼って試験直前の数日以内に暗記など                                                                            | 各種アウトプット教材(問題集、答練、アク<br>セス、テキスト目次、財理章扉word)をきっ<br>かけとして繰り返し想起し、テキストへ戻る。<br>テキストチェックゼミ(財務計算実施・アーカイ<br>ブ済、管理・監査は12月短答以降実施)。                 |
| 理解・暗記に加えて<br>大きなやらかしをせず<br>得点に繋げ切る<br>(試験中の行動) | <input checked="" type="checkbox"/> やらかしミスの対策・工夫をしている<br><input checked="" type="checkbox"/> 時間配分で崩れない、粘り過ぎない<br><input checked="" type="checkbox"/> 正誤の判断能力 ※×を探す。○は積極的には判<br>断しない。<br>【論文】問題文を読み、テキストのどこが問われ<br>ているか掴める。素直に過不足なく答えられる。<br>基準集が使える(監査論/租税法/財理/企業法)。 | 問題集・アクセス・答練・全国模試後に分析<br>して修正行動を検討。<br>★解き慣れていない問題で試す。やらかしミ<br>スを分析し、対策をメモ。常に工夫。<br>(論文理論科目の場合、オンライン質問ルー<br>ムや質問コーナーで答案のフィードバックを<br>受けるなど) |

## 0. セミナーの目的・合格に必要な力3つ(再掲)

1. ゴールを知る 本試験成績の決まり方・スケジュール・解答時のポイント  
答練をコンスタントに受けるには・学習環境の整え方

## 2. 何を、どれぐらい覚える？

3. 答練の位置づけは？ どの講義を受ける？

4. サポート制度の利用 大学受験や短答対策との違いは？  
(公式LINE/LINEオープンチャット/各種サポート窓口)

5. 論文対策 まずやることリスト

## 2. 何を、どれぐらい覚える？

**参考法令基準集**(論文本試験で参照可能・2月に最新版発売)に  
**記載のない定義・理屈**を覚える。会計学は古本でも早めに入手がおすすめ。

### 自習の進め方

Step 1. まずは、テキストの論文重要論点を読んで深く納得できる状態に。

**具体例**をイメージ。類似論点などと**比較**できるか(共通点・相違点)。

適宜インプット強化講義受講や質問活用。

※財理・監査論・学習法LINEオープンチャット

覚える対象・重要度・ボリュームを把握。目次にマークも◎。

Step 2. 重要な論点につき、**まずは一言で説明**できる状態に。

その後、短くも長くも説明できる状態に。論理の骨組みを意識。

丸暗記ではなく、具体的な状況をイメージしながら。

Step 3. 目次を見て、論点を想起できる状態に。答練で試す。

# テキストベース（テキストを中心に置く）学習とは？

具体的な問題を【きっかけ】にして（アウトプット）、  
抽象的・一般的な記述である  
テキストを【周辺まで】つぶす（インプット強化）。

問題の周辺論点を比較して想起（他の場合分けや理屈など）  
テキストに戻って周辺のあやふやな箇所を確認

★受け身で「読む」のではなく、出題者側の気持ちで能動的に取り組む。



応用的な問題も含めて、  
初見の問題にも対応できるようになる。

## 0. セミナーの目的・合格に必要な力3つ(再掲)

1. ゴールを知る 本試験成績の決まり方・スケジュール・解答時のポイント  
答練をコンスタントに受けるには・学習環境の整え方

2. 何を、どれぐらい覚える？

## 3. 答練の位置づけは？ どの講義を受ける？

4. サポート制度の利用 大学受験や短答対策との違いは？  
(公式LINE/LINEオープンチャット/各種サポート窓口)

5. 論文対策 まずやることリスト

# 答練の位置づけは？

※応用答練までは出題範囲あり。後日Web School「教材」欄

**TAC**

**論文基礎答練3回** ごく基礎的な問題が多い。形式に慣れる。問いに素直に答える練習。

**論文応用答練2回**(2～4月頭) **直前答練3～4回**(6～7月) **全国模試2回**(4月末・6月末)

時間配分の練習。部分点を取る練習。難易度の高い問題のうち、取るべき箇所の見極め。

特に、財務・管理の応用答練は難しめの出題が多い

租税・経営は、応用答練から理論部分を出題開始。

## 論文アクセス14回

●財務計算・管理(理論含む)論文アクセス 1月半ば～

●租税計算 2月～ 形式に慣れる。反復して復習。

取るべき箇所の見極め・メンテナンスに活用。

苦手な論点の強化やスピードアップに、難易度A・B部分を使う(特に財務)。

※5月から論文対策を開始する場合、租税はアクセスや基礎答練をテキストを横に置いて解き、トレーニング代わりにする。

**理論補強答練** 5月～ ※科目によって重要性が異なる。

●企業・租税・経営学...通常の答練と重要性は同等。必ず受講して復習。

●財理・監査論...重要性は少し下がる。応用的・論点横断的な問題が多い。

自習時の視点を新たにしたり、理解強化に活用。通常答練が優先。

# どの講義を受ける？①初学者向け必須講義

TAC

## ガイダンス系動画

●各科目 **答案作成ポイント講義**(15分ほどずつ)

●**論文対策講義初回**で形式・傾向を知る

※初年度生かつ通学生の場合、手続きが必要。詳しくはWebscool「講座からのお知らせ」

※租税論文対策講義は、主に論文リスタート生向けの理論強化・改正論点対策。

## 選択科目初学者向けインプット講義(以下、経営学を前提)

★【5月短答を受ける場合】いつから・どこまで受けるかは、詳しくは「年内のポイント」セミナー参照

5月生 3月末までの講義受講優先順位のイメージ

租税法入門9回＞上級4回＞上級5～8回＝経営学ファイナンス4回分＞ファイナンス部分5～10回

5月短答後、残りの講義受講

●租税法 **入門9回(法人税基礎①)** **上級1～8回** **所得税・消費税・法人税基礎②**

上級9～15回 各税法応用論点

上級16～18回 理論部分(5月生は5月短答後に受講)

5月短答後から開始する場合、

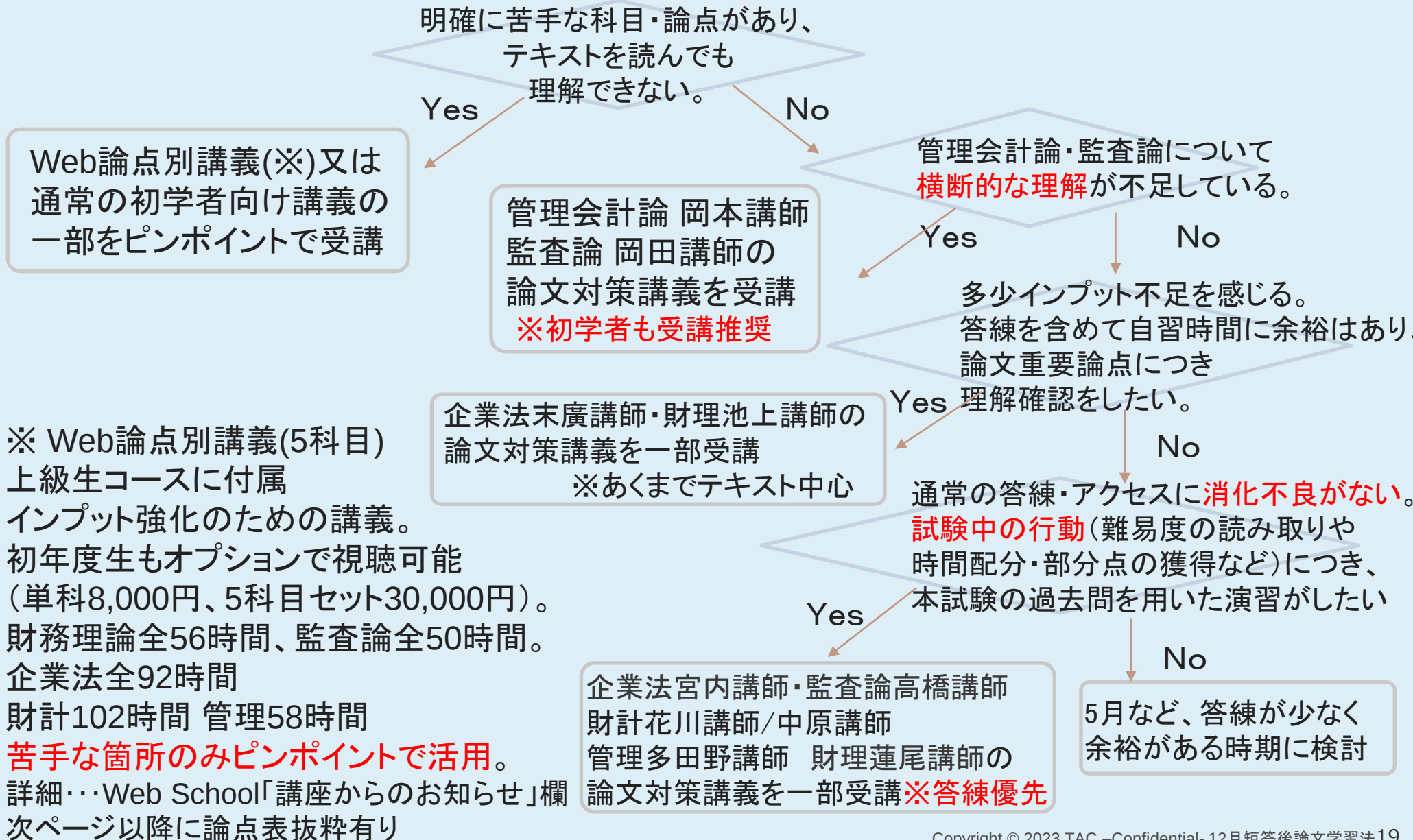
短期集中講義全14回＋理論講義(通常上級講義の16～18回を受講) ※変更の可能性有り

●経営学 **ファイナンス部分10回**

**戦略論・組織論部分7回**(4月までに4回ほど・6月中までに3回ほど)

6月 各科目 論文直前講義 補足・改正論点や、直前期・当日の注意点など

# どの講義を受ける？②初学者向け 短論共通5科目の強化 **TAC**



# Web論点別講義 財務計算・管理会計論 論点表抜粋

TAC

財務計算 総合計 6,187分 102時間 (苦手な箇所のみ視聴)

管理会計論 総合計 3,490分 58時間 1.6倍速で36時

目次

## 2024年目標 財務会計論【計算】Web論点別対策講義 配信一覧

| 教材    |      | 財務会計論【計算】Web論点別講義 論点一覧 | 講義時間<br>(分) | 論点数 |
|-------|------|------------------------|-------------|-----|
| -     |      | はじめに(講義の使い方)           | 10          | 1   |
| テキスト① | 第1章  | P/L, B/Sの区分表示          | 27          | 2   |
|       | 第2章  | 現金及び預金                 | 109         | 3   |
|       | 第3章  | 手形取引                   | 43          | 4   |
|       | 第4章  | 有価証券(その1)              | 139         | 5   |
|       | 第5章  | 有価証券(その2)              | 91          | 6   |
|       | 第6章  | 外貨換算会計(その1)            | 123         | 7   |
|       | 第7章  | 外貨換算会計(その2)            | 20          | 8   |
|       | 第8章  | 貸倒引当金                  | 61          | 9   |
|       | 第9章  | 金融商品                   | 121         | 10  |
|       | 第10章 | ヘッジ会計                  | 92          | 11  |
| テキスト② | 第1章  | 棚卸資産                   | 127         | 12  |
|       | 第2章  | 有形固定資産                 | 169         | 13  |
|       | 第3章  | 無形固定資産                 | 15          | 14  |
|       | 第4章  | 投資その他の資産               | 13          | 15  |
|       | 第5章  | 繰延資産                   | 23          | 16  |
|       | 第6章  | 固定資産の減損(その1)           | 81          | 17  |
|       | 第7章  | 固定資産の減損(その2)           | 47          | 18  |
|       | 第8章  | 研究開発費とソフトウェア           | 61          | 19  |
|       | 第9章  | 収益認識に関する会計基準(その1)      | 101         | 20  |
|       | 第10章 | 収益認識に関する会計基準(その2)      | 42          | 21  |
| テキスト  | 第1章  | リース取引(その1)             | 103         | 22  |
|       | 第2章  | リース取引(その2)             | 19          | 23  |
|       | 第3章  | リース取引(その3)             | 32          | 24  |
|       | 第4章  | 資産除去債務                 | 60          | 25  |
|       | 第5章  | 退職給付会計(その1)            | 154         | 26  |

## 2024年目標 管理会計 Web論点別対策講義 配信一覧

| 教材                   | 管理会計論 Web論点別対策講義 論点一覧 |            |         |                     | 講義時間<br>(分) | 論点数 |
|----------------------|-----------------------|------------|---------|---------------------|-------------|-----|
|                      | 章 / 名称等               |            | 節 / 名称等 |                     |             |     |
| 第Ⅰ部<br>テキスト<br>原価計算編 | -                     | 学習等について    | -       | オリエンテーション           | 55          | 1   |
|                      | 第1章                   | 原価計算総論     | 第1節     | 原価計算基準              | 57          | 2   |
|                      |                       |            | 第2節     | 原価計算制度と特殊原価調査       | 28          | 3   |
|                      |                       |            | 第3節     | 原価の要件と非原価項目         | 21          | 4   |
|                      |                       |            | 第4節     | 原価の諸概念(基準4)         | 27          | 5   |
|                      |                       |            | 第5節     | 原価の分類と製造原価の分類(基準8)  | 50          | 6   |
|                      |                       |            | 第6節     | 製品原価計算の手続と工業簿記      | 4           | 7   |
|                      | 第2章                   | 費目別計算      | 第1節     | 費目別計算の手続            | 6           | 8   |
|                      |                       |            | 第2節     | 材料費の計算              | 102         | 9   |
|                      |                       |            | 第3節     | 労務費の計算              | 46          | 10  |
|                      |                       |            | 第4節     | 経費の計算               | 25          | 11  |
|                      | -                     | 学習等について    | -       | 雑談1                 | 48          | 12  |
|                      | 第3章                   | 製造間接費の配賦計算 | 第1節     | 製造間接費の配賦            | 17          | 13  |
|                      |                       |            | 第2節     | 製造間接費の予定配賦          | 20          | 14  |
|                      |                       |            | 第3節     | 基準操業度               | 28          | 15  |
|                      |                       |            | 第4節     | 製造間接費予算             | 69          | 16  |
|                      | 第4章                   | 部門別計算      | 第1節     | 部門別計算の基礎            | 45          | 17  |
|                      |                       |            | 第2節     | 部門別計算の手続            | 44          | 18  |
|                      |                       |            | 第3節     | 製造部門費の予定配賦          | 132         | 19  |
|                      | 第5章                   | 個別原価計算     | 第1節     | 製品別計算の基礎            | 61          | 20  |
|                      |                       |            | 第2節     | 個別原価計算の基礎           | 26          | 21  |
|                      |                       |            | 第3節     | 仕損の会計処理(基準35)       | 51          | 22  |
|                      |                       |            | 第4節     | 作業層の会計処理(基準36)      | 16          | 23  |
|                      | -                     | 学習等について    | -       | 雑談2                 | 30          | 24  |
|                      |                       |            | 第1節     | 総合原価計算の基礎           | 6           | 25  |
|                      |                       |            | 第2節     | 期首仕掛品があるときの計算(基準24) | 39          | 26  |
| 第3節                  |                       |            | 追加材料の投入 | 35                  | 27          |     |

# Web論点別講義 財務理論・監査論 論点表抜粋

TAC

財務理論 計 3,399分 56時間 1.6倍速で35時間  
時間

2024年目標 財務会計論【理論】Web論点別対策講義 配信一覧

| 教材   | 財務会計論【理論】Web論点別講義 論点一覧          |  | 講義時間<br>(分) |
|------|---------------------------------|--|-------------|
|      | 講義の概要                           |  |             |
| テキスト | 第1章 財務会計の機能と制度                  |  |             |
|      | I. 企業会計とその対象領域                  |  | 6           |
|      | II. 財務会計の機能                     |  | 12          |
|      | III. 制度会計                       |  | 9           |
|      | IV. 一般に公正妥当と認められる企業会計の基準 (GAAP) |  | 10          |
|      | 第2章 財務会計の基礎概念                   |  |             |
|      | I. 会計基準を設定するアプローチ               |  | 6           |
|      | II. 会計公平                        |  | 8           |
|      | III. 会計主体論                      |  | 7           |
|      | IV. 貸借対照表観                      |  | 9           |
|      | V. 利益観                          |  | 15          |
|      | VI. 金融投資と事業投資                   |  | 11          |
|      | 第3章「企業会計原則」の一般原則等               |  |             |
|      | I. 総論                           |  | 2           |
|      | II. 一般原則                        |  | 57          |
|      | III. 重要性の原則                     |  | 13          |
|      | 第4章 財務諸表の表示                     |  |             |
|      | I. 貸借対照表                        |  | 19          |
|      | II. 損益計算書                       |  | 7           |
|      | 第5章 損益会計                        |  |             |
|      | I. 損益計算の基礎                      |  | 23          |
|      | II. 収益の認識基準                     |  | 26          |
|      | III. 事業投資の収益認識基準                |  | 10          |
|      | IV. 金融投資の収益認識基準                 |  | 5           |
|      | V. 収益認識基準の統一的説明 (リスクからの解放)      |  | 10          |
|      | VI. 費用の認識基準                     |  | 3           |
|      | VII. 費用収益対応の原則                  |  | 9           |
|      | VIII. 収益及び費用の測定基準               |  | 8           |
|      | IX. 発生主義会計のまとめ                  |  | 2           |
|      | X. 内部利益の除去等                     |  | 13          |

【研究】転リース取引の会計処理

3

監査論 総合計 3,059分 50時間 1.6倍速で31

2024年目標 監査論 Web論点別対策講義 配信一覧

| 教材 | 基準等の<br>改正論点 | テキスト |   | 監査論 Web論点別対策講義 論点一覧 | 講義時間<br>(分) | 論点数 |
|----|--------------|------|---|---------------------|-------------|-----|
|    |              | 章    | 節 |                     |             |     |
|    |              | 第1章  | 1 | 財務諸表監査の必要性          | 25          | 1   |
|    |              | 第1章  | 1 | 会計監査の歴史             | 16          | 2   |
|    |              | 第1章  | 1 | 我が国の公認会計士監査制度の歴史    | 38          | 3   |
|    |              | 第1章  | 2 | 監査基準 (定義・必要性・性質・効果) | 28          | 4   |
|    |              | 第1章  | 2 | 期待ギャップ              | 13          | 5   |
|    |              | 第1章  | 2 | 我が国の監査の基準           | 28          | 6   |
|    |              | 第1章  | 3 | 財務諸表監査の目的           | 35          | 7   |
|    |              | 第1章  | 3 | 財務諸表監査の前提           | 21          | 8   |
|    |              | 第1章  | 3 | 財務諸表監査の機能           | 26          | 9   |
|    |              | 第1章  | 4 | 監査人の条件 (総論)         | 14          | 10  |
|    |              | 第1章  | 4 | 監査人の条件 (能力・独立性)     | 31          | 11  |
|    |              |      |   |                     |             |     |
|    |              | 第2章  | 7 | 他の監査人の利用とグループ監査総論   | 27          | 36  |
|    |              | 第2章  | 7 | グループ監査 (その2)        | 60          | 37  |
|    |              | 第4章  | 4 | 監査の品質管理 (その1)       | 43          | 61  |
|    |              | 第4章  | 4 | 監査の品質管理 (その2)       | 56          | 62  |
|    |              | 第4章  | 4 | 監査の品質管理 (その3)       | 27          | 63  |
|    |              | 第4章  | 4 | 監査の品質管理 (その4)       | 39          | 64  |
|    |              | 第4章  | 4 | 監査の品質管理 (その5)       | 30          | 65  |
|    |              | 第4章  | 4 | 監査の品質管理 (その6)       | 30          | 66  |
|    |              | 第6章  | 3 | 倫理規則                | 55          | 88  |

23目標からの改正箇所は黄色網掛け部分

# Web論点別講義 企業法 論点表抜粋

企業法 計 5,531分 92時間 1.2倍速で76時間

2024年目標 企業法 Web論点別対策講義 配信一覧

| 教材    | 改正論点等 | 企業法 Web論点別対策講義 論点一覧 | 講義時間<br>(分) | 論点数 |
|-------|-------|---------------------|-------------|-----|
| テキスト① |       | 重要な定義               | 48          | 1   |
|       |       | 会社法の意義・会社の概念        | 42          | 2   |
|       |       | 株式会社の意義と特色          | 26          | 3   |
|       |       | 機関総説                | 49          | 4   |
|       |       | 株主総会1               | 122         | 5   |
|       |       | 株主総会2               | 132         | 6   |
|       |       | 種類株主総会              | 23          | 7   |
|       | ○     | 株主総会資料の電子提供制度       | 69          | 8   |
|       |       | 株主総会決議の瑕疵           | 84          | 9   |
|       |       | 取締役                 | 82          | 10  |
|       |       | 取締役会                | 100         | 11  |
|       |       | 代表取締役               | 116         | 12  |
|       |       | 取締役の義務1             | 120         | 13  |
|       |       | 取締役の義務2             | 115         | 14  |
|       |       | 会計参与                | 28          | 15  |
|       |       | 監査役・監査役会            | 85          | 16  |
|       |       | 会計監査人               | 39          | 17  |
|       |       | 指名委員会等設置会社          | 117         | 18  |
|       |       | 監査等委員会設置会社          | 57          | 19  |

|  |   |          |     |    |
|--|---|----------|-----|----|
|  | ○ | 株式の消却その他 | 132 | 34 |
|--|---|----------|-----|----|

|  |   |                 |     |    |
|--|---|-----------------|-----|----|
|  | ○ | 組織再編行為の手続2      | 171 | 53 |
|  |   | 株式会社の定款変更・解散・清算 | 17  | 54 |
|  |   | 特例有限会社・外国会社     | 22  | 55 |
|  |   | 会社法総則           | 109 | 56 |

|     |   |                    |     |    |
|-----|---|--------------------|-----|----|
|     |   | 商法総則・商行為法3         | 126 | 59 |
| 金商法 | ○ | 金融商品取引法(1)総論       | 111 | 60 |
|     |   | 金融商品取引法(2)発行開示     | 142 | 61 |
|     | ○ | 金融商品取引法(3)継続開示     | 56  | 62 |
|     | ○ | 金融商品取引法(4)公開買付け規制  | 89  | 63 |
|     |   | 金融商品取引法(5)大量保有報告制度 | 34  | 64 |
|     | ○ | 金融商品取引法(6)規制違反の責任  | 38  | 65 |

23目標からの改正箇所は黄色網掛け部分

苦手な論点を優先的に視聴。

- 0. セミナーの目的・合格に必要な力3つ (再掲)
- 1. ゴールを知る 本試験成績の決まり方・スケジュール・解答時のポイント  
答練をコンスタントに受けるには・学習環境の整え方
- 2. 何を、どれぐらい覚える？
- 3. 答練の位置づけは？ どの講義を受ける？
- 4. サポート制度の利用 大学受験や短答対策との違いは？  
(公式LINE/LINEオープンチャット/各種サポート窓口)
- 5. 論文対策 まずやることリスト

特に論文期に入ると、理論科目で  
答案のフィードバックを受けたり質問の機会が重要になる。

全く質問利用なしに合格することはまれ。

問に対して素直に過不足なく答えているか？

論点ズレしていないか？理解不足はないか？

1対1の質問コーナー(校舎・オンライン)や

1対複数のオンライン質問ルームを活用。

★ビデオオフ・匿名やチャットのみでの利用や見学も可能！

※「他校の理論科目の教材を単科受講するか？」

どこの予備校にも講師相談し辛くなり、結果的に対策・軌道修正が遅れてしまって  
本試験で足を引っ張るケースを多く見かけるため、要注意。

特に、**大学受験時の経験値があまり高くない場合に、キャパオーバーになりがち。**

# LINE公式アカウントによる重要情報のお知らせ

TAC

重要情報の入手漏れがないよう、  
登録をお願いします。

目標年度・状況ごとに別アカウントで、  
以下の内容をお知らせ。

- 本試験関連情報
- セミナー・相談会等 実施情報
- 主な講義/答練日程の公表  
(日程変更については、  
別途メール通知サービスをご利用ください。)
- よくいただくご質問
- 模試の平均点速報
- 直前期・当日の注意点等

お知らせ内容のイメージ

▶ Twitter @hirabayashi\_tac

24目標 論文関連情報  
公式LINE  
LINEID検索:「@24tac\_ron」



保存 | 名前を付けて保存 | 転送 | Keep

午後 9:15



保存 | 名前を付けて保存 | 転送 | Keep

午後 9:15

■ 短答全国模試の手続が始まっています。会場受験希望の場合、いつもと違う校舎で受験がおすすめです。詳しくはweb school「講座からのお知らせ」欄をどうぞ。

■ 短答基礎答練2の正答率速報値が、web school「教材」に上がりました。  
受験生の多くが正解している問題について、復習未実施・暗記やメンテ不足・時間配分などの原因分析や復習にご活用ください。

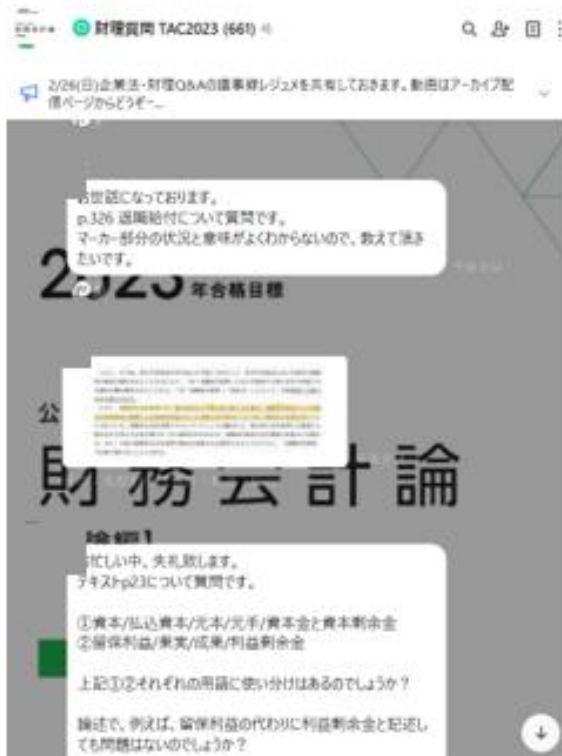
★校舎の日程で受けそびれた通学生は、受付で受取・受験/提出できます👍 会員証があれば、どの校舎でも当日に事前手

# LINEオープンチャットでの質問対応について

掲示板のような形式で、匿名で講師に質問できる。画像貼付も可能。

対応講師 財理・学習法：平林 監査論：岡田

参加方法・・・Web School 下段 「受講生専用ページ」



# オンライン質問ルームでの1対複数の質問対応についてTAC

TAC 公認会計士講座

12/3(日)版

## 12月オンライン質問ルーム(1対複数)待機

### ■12/4(月)12-20時

12-14時 鈴木さん (12→8日吉校チューター)

12-15時 [財理/相談]平林講師 主に短答生向け

17-20時 [財理/相談]平林講師 主に論文生向け

18-20時 清水さん (12→8新宿横浜校等チューター)

### ■12/8(金)14-20時

14-16時 鈴木さん (日吉校チューター)

14-16時 [経営学]尾崎講師

16-18時 [企業]宮内講師

16-18時 [財理/相談]平林講師 主に短答生向け

18-20時 [財理/相談]平林講師 主に論文生向け

### ■12/13(水)13-20時

13-15時 [財理/相談]平林講師 主に5→8見込みの方向け

15-17時 [財理/相談]平林講師 主に12→8見込みの方向け

18-19時 [財理/相談]平林講師 主に論文生向け

18-20時 清水さん (新宿横浜校等チューター)

17:30-20時[監査論]岡田講師

### ■12/23(土)12-18時

12-14時 [財理/相談]平林講師 主に5→8見込みの方向け

13-15時 福田さん (退職専念、短答リスタート)

15-17時 [財理/相談]平林講師 主に12→8見込みの方向け

17-18時 [財理/相談]平林講師 主に論文生向け

16-18時 松本さん (早稲田校チューター)

16-18時 [企業]宮内講師

### ■12/29(金)12-18時

12-14時 小田さん (新宿横浜校等チューター)

12-13時 [財理/相談]平林講師 主に論文生向け

14-15時 [財理/相談]平林講師 主に12→8見込みの方向け

15-17時 松本さん (早稲田校チューター)

16-18時 [企業]宮内講師

16-18時 [財理/相談]平林講師 主に5→8見込みの方向け

✓講師や合格者が2時間ずつ待機  
予約不要 15分ほどずつ対応

✓zoomのブレイクアウトルーム機能を使用・ビデオオフ・匿名参加OK

✓質問がある場合、挙手ボタンを押して待つ。チャット欄か音声で質問。

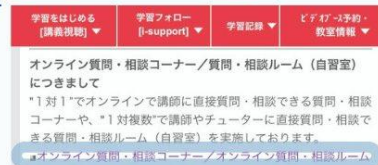
✓人数制限なし、匿名OK、見学参加もOK  
(お名前を「見学」とするなど)

✓答案等を画面共有して相談可能



### 【参加方法】

web school トップページ下段  
パスワード付ページ  
(ブックマーク可能)



※ 1対1のオンライン/対面  
質問・相談コーナーは  
別途毎日実施  
(質問・相談コーナー日程表)

★挙手やチャットで質問可能

★論文答練の答案を

画面共有しての質問もOK

★見学参加もOK

★合格者にも直接相談可能

Webschool下段から参加

**TAC**

・【質問・相談コーナー】(成績相談は除く)は、お申込み前の方の受験相談にもご利用いただけます。ご利用方法は各校舎にお問い合わせください。

・オンラインで質問できる「質問・相談コーナー(Zoom版)」の利用方法は、TAC WEB SCHOOL内のお知らせ(TOP画面)をご覧ください。

Copyright © 2023 TAC –Confidential- 12月短答後論文学習法 28

# 各種サポート



Web School「受講生専用ページ」参照

**TAC**

## 1. 情報提供

- 公式LINE
- 定期的なオンラインセミナー

学習の進め方に不安がない場合も、  
重要情報の入手や  
短期・中期目標確認のため利用。



サポート一覧HP

## 2. 1対複数の相談対応

- オンライン質問ルーム(挙手やチャットで質問可能・見学参加もOK)
- LINEオープンチャット(上級期から、学習法・財理・監査論につき開設)

## 3. 1対1の相談対応

- オンライン/対面質問コーナー 通信生も、校舎の質問コーナー利用OK！

- Web School 質問メール
- 個別成績・学習方法相談

(毎週土曜13時、翌週分のみ予約受付)

- 就職サポート(短答生もOK)

(フリーダイヤル0120527699/メールcounselor@tac-school.co.jpで随時対応)

- 1対1の相談時、より具体的な話ができるように…
- ✓質問・相談前に、直近で実施したオンラインセミナーの資料を確認(できれば動画冒頭30分程も視聴)
  - ✓相談時、自己分析結果/現在の自分の課題や今後の方針、解いた際の下書き/答案等を持参

## 0. セミナーの目的・合格に必要な力3つ(再掲)

1. ゴールを知る 本試験成績の決まり方・スケジュール・解答時のポイント  
答練をコンスタントに受けるには・学習環境の整え方

2. 何を、どれぐらい覚える？

3. 答練の位置づけは？どの講義を受ける？

4. サポート制度の利用 大学受験や短答対策との違いは？  
(公式LINE/LINEオープンチャット/各種サポート窓口)

## 5. 論文対策 まずやることリスト

# 論文対策 まずやることリスト①

TAC

## □論文関連情報 公式LINE登録

□各科目答案作成ポイント講義を受講

□通学生の場合、論文対策講義の視聴登録

□本セミナーと年内のポイントセミナーを受講

□租税法入門講義受講開始(5月短答生は「年内のポイント」セミナー参照)

□「サポート一覧」ページから「講義日程表」「質問コーナー日程表」

「個別成績・学習方法相談」ページをブックマーク

(収録クラスは、関東…新宿校、関西…梅田校又は京都校。その後1週間後以降配信)

□Web School下段から「受講生専用ページ」ブックマーク パスワードメモ

(セミナーアーカイブ・イベント情報等全てまとまっている)

□Web School下段から「オンライン質問ルーム・質問コーナー」ブックマーク

パスワードメモ(オンライン質問ルーム・質問コーナーの参加リンクが毎月まとまっている)

□Web School「受講生専用ページ」から各種LINEオープンチャット登録

(学習法・財理・監査論) 講師の紹介は、学習法LINEオープンチャットの「ノート」参照



TAC論文関連情報 公式LINE

<https://lin.ee/ATV58d1>



サポート一覧

# 論文対策 まずやることリスト②

1時間半ほどで校舎へ行ける場合

□受付の**会計士講座担当者**と少し話す

(校舎の使い方など、講師・チューターよりもさらに気軽に頼れる。)

□校舎講義・質問コーナー担当の**財務計算講師(講義概ね週2)**や**チューター**と話す

(進捗で困った時に、優先順位の付け方や他の科目の先生紹介等頼る。)

□**管理テキストチェックゼミ オンライン体験会**アーカイブを視聴

主に論文リスタート生向けだか、自分に適していると感じたら、  
12/14(木)以降毎週実施のため、材料費から準備。



□12月後半から管理岡本講師・1月から監査論岡田講師の論文対策講義受講

**横串を刺した理解**を進めつつ、1月後半からの答練で知識を「使う」。

他の科目は、ガイダンスとして論文対策講義を初回受講。

□不安がある場合、財務計算講師や、対面質問コーナー・相談会、

オンライン質問ルーム/質問コーナーやLINEオープンチャットで平林へ

※Twitter(X)プロフィール 固定ツイート(最上段にピン留め)に直近の待機日程まとめ有り

★各種相談窓口は、1月に入るとかなり空く見込み。

平林Twitter

※Twitter(X) のDMでもご相談を承ります。

[https://twitter.com/hirabayashi\\_tac](https://twitter.com/hirabayashi_tac)

